

陸上競技部



佐藤 太斗さん

砲丸投げで全道大会出場を勝ち取った佐藤さん。「今年の高体連はとても選手の全体的なレベルが高く、とても緊張した」と支部大会での感想を語った。まだ胸を張つて言った。

9月になり、大半の部活動が代替わりし、2年次が次の代へとチームを導く立場になつていく。そこで、報道局は高体連で全道大会に出場した2年次生に、大会での感想や今後のチームについて取材した。

みんなで支えられるチームに

周りから応援されるチームに

男子バドミントンで全道大会に出場した小松本さん。「高体連では負けてしまつたが、かかして次の大会でも全国大会へ出場する」と話した。また、全道大会出場への意気込みについて、「チーム一丸とないで支え合えるチームになつてほしいう質問に答えては、「みんなどんな後輩も先輩も一緒に力を精一杯頑張ろうと思ふ」と熱意を込めて試合に挑んだ。

男子団体、個人で全道大会に出場した原さん。「ともに全道大会出場をし、個人では全国大会出場を果たした岩佐さん。

男子弓道部の岩佐奏汰さんは、「周りから応援されたい」と悔恨の念も大きい」と示した。全国大会出場につい

今までの雰囲気を保つて目標を達成できるチームに

全国に

新人戦、春季大会、高体連優勝の三冠へ

男子バレーボールで全国大会出場を果たした貞尾さん。「目標の支部大会優勝にあと一步届かず悔しかった」との想いを胸に、「支部大会決勝では平常心でいいらしく、いつもの中のプレーができなかつたことから、どんな状況でもいつも通りプレーすることを心がけて練習を行つてきた」と語った。

季大会、高体連優勝の三冠を達成したい」と次の代へ抱負を語った。

菊地由桜さんには、ちらむたもーんのしらべるにえに人してなチー

周り援よう

応援よ

い成績も残した。自分達の代では、「今までの雰囲気を保つて全国に臨み、個人では見事、全国大会出場という輝かしい」と気持

女子団体で全道大会出場への切符を手に入れた菊地さん。「リーグ戦で相りたい」と話し、試合に挑んだ。

男子バレーボール部

部活動、代替わりへ



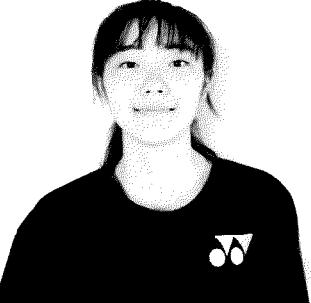
9月になり、大半の部活動が代替わりし、2年次が次の代へとチームを導く立場になつていく。そこで、報道局は高体連で全道大会に出場した2年次生に、大会での感想や今後のチームについて取材した。

男子バドミントン部



小松本 悠真さん

女子バドミントン部



原くるみさん

突1が回る中、先輩かと力で嬉してしまった。全道大会へ出場するにあたっては、「3年生と出場できかたたが、良い経験になり、とても楽しかった」と話す。先輩たちと引ける残り少ない時間で、振り返った。

菊地由桜さんは、「先輩方が引っ張つて、この部活をより良くしていくため、練習にしっかり取り組んで目標を達成できるチームになつてほしい」と意気込んだ。今後のチームについて、「先輩方が引っ張つて、この部活をより良くしていくため、練習にしっかり取り組んで目標を達成できるチームになつてほしい」と意気込みを語った。

女子弓道部



贞尾 紘夢さん

菊地由桜さんは、「先輩たちと一緒にチームになつてほしい」と語った。

菊地由桜さんは、「前代より試合経験は少しが、個々の技術は高いと思うので、今年はまだ胸を張つて言つた。